
Best Friend

心

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Best Friend

【Nコード】

N5457BA

【作者名】

心

【あらすじ】

実嘉は元気な中2。実嘉の親友の玲。

玲と実嘉はお互い仲が良くいつも一緒だった…。

だがそんないつまでも一緒なわけがない。

お互いそれぞれ離ればなれになることがあるのだ。

その一例はこの実嘉と玲にあるのである。

1、私たちの友情はどこ？

私、実嘉には、大事な親友がいます！

名前は、玲ちゃん。

とっても、可愛くて性格なんて、優しいし、相談にのってくれるし、
とっても、気を遣ってくれるんです。。。

そんな、玲ちゃんが大好きです

でも、玲ちゃんはもうすぐ、アメリカに転校して行ってしまいますので
す！

離れ離れはさすがに寂しすぎます。。。

最後の日には、ちゃんと話そう。話してお別れしよう。。。

.....

「玲ちゃん、おはよう」

私はいつもどおりに、玲ちゃんに挨拶をした。

玲ちゃんの顔は何気に寂しそうだった。。。

「おはよう、実嘉ちゃん」

寂しさをごまかそうと必死に笑顔を作っていた。

私は、すぐその笑顔は嘘だとわかった。

「ねえねえ、玲ちゃん」

私は、あることを尋ねようと玲ちゃんに声をかける。。。

「何？実嘉ちゃん」

「あのさ、何時出発するんだっけ？？なんか気になっちゃって」

私が、転校のことの話をする、玲ちゃんの顔は悲しみに満ちてい

た。

「あ、ゴメン玲ちゃん」

「えー!? 何で謝るの! 別に実嘉ちゃんは悪いことなんてして無いじゃん」

玲ちゃん・・・

「で、いつだっけ?」

「ん〜と、そういえば明日だったかな?」

「えー! そんなに早い!?」

そんな、急だったなんて知らなかった。。。もっと、玲ちゃんと一緒に居たかったのに・・・。

「そんなの信じられないよ」

「え?」

私がそう言ったがなぜか聞こえなかったらしい。

二度も言うのは悲しくなるからその場から逃れるために走って逃げた『明日』だと聞いたとき胸が破れそうだった

それに、玲ちゃんとの友達関係はもうこれで終わりになるのではないかと思った

私はもちろん玲ちゃんと友達で居たいし、そばに居たいって思うでも、玲ちゃんは私のことなんかどうでもいいんじゃないかとたまに思うときがある

玲ちゃんがこのごろ何を思ってるのかわからなくなってきた。。。
.....

私は家に帰り頭の中を整理した

『明日』玲ちゃんが引越す日

私はそれを知らなかった

玲ちゃんは私のことをなんとも思っていない

私は玲ちゃんが好きだ
けど玲ちゃんは・・・。

ピンポン。。。

誰か来たようだ

でも、それどころじゃない

玲ちゃんに自分の気持ちを伝えよう

でも、どうやって。。。

直接言つとなんか気まずくなりそうだし

メールつて言つても私貧乏だから携帯持つてないし・・・。

「あ、そうだ」

私はひらめいた

そうだ、手紙という手段があるじゃないか

じゃあ、早速手紙を書いてみよう

「実嘉」

お母さんだ、

早速手紙を書こうとしているのに何で邪魔をするんだ

「なにお母さん」

「玲ちゃんだよ」

つえ!?

なんで? 何で今来るの?

つて言うかなんで家に来るの!?

「早く下りてきなさい」

「・・・わかった」

今は、なんか会いたくなかったけど行かなかつたら
変に思われるからしょうがなく行くことにした

「あ、実嘉ちゃん・・・」

「・・・どうして」

「っえ？」

私の声が小さすぎたのか玲ちゃんには聞こえなかつたらしい
私の気持ちすらも聞こえないだろうね・・・。

「なんで、家にきたの？」

明日引越すんだから準備しないと？」

「えっ！ああそうなんだけど・・・」

どうしても実嘉ちゃんに会いたくて・・・。」

「何で、べつにはなすこともないと思うんだけど」

私は追い払うようにきつく言った

「そんなことないよ！！ちゃんとあるじゃん！」

「えっ？」

玲ちゃんの怒った所始めて見た…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5457ba/>

Best Friend

2012年1月14日23時52分発行